

膵がんセット

料金：44,000円（税込み）

検査項目：CA19-9・APoA2・腹部超音波検査・MRCP（MRI）検査

<症状のないうちに早期発見をしたい>

膵がんによる症状には、お腹や背中への痛み、体重減少、黄疸、食欲低下などがありますが、症状は病気が進んでからでないと現れてこないことが多いと言われています。

膵がんの大きさが1cmを下回る時点で手術をすると、再発率が低下し予後が良好であることが知られています。したがって、膵がんを「早期発見」することが重要といわれています。

<膵がんを見つけるための検査>

*腫瘍マーカー検査（血液検査）

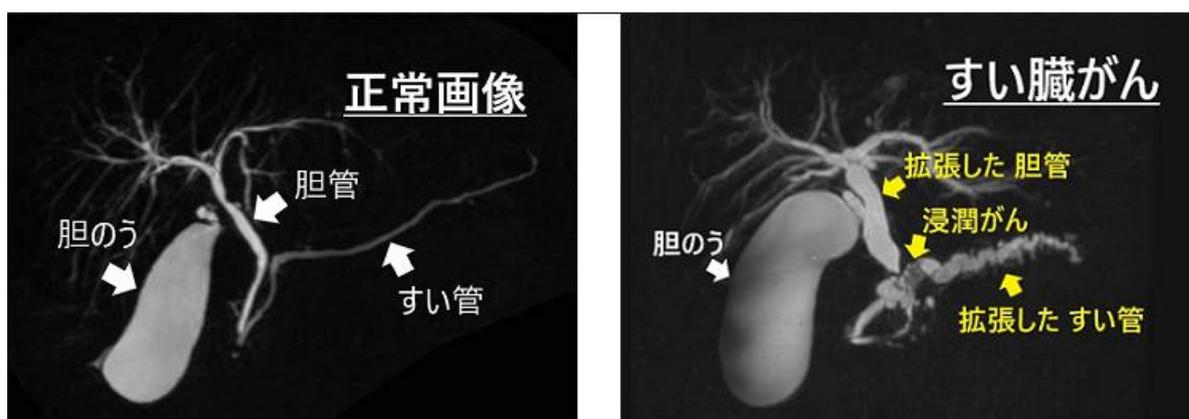
従来の腫瘍マーカーであるCA19-9に加え、早期の膵がんの検出に有用といわれるApoA2という2項目を測定します。・2023年に承認された日本で開発された検査

*腹部超音波（エコー）検査

お腹にゼリーを塗って、超音波探触子（プローブ）を当てて膵臓を観察します。しかしながら、膵臓は体の奥の方の深い場所にあるので観察が難しく、特に膵頭部や膵尾部といわれる部位は胃腸のガスの陰に隠れてしまい観察できないこともあります。

*MRCP（MRI）検査 ※浦添総合病院で受けて頂きます。

膵がんの早期の徴候である膵管（膵液の通り道）の狭窄や拡張、膵のう胞といった画像所見を鋭敏にとらえることができます。（下記写真）



こんな方へお勧めです

家系に膵臓癌がいる方 糖尿病 慢性膵炎、 肥満がある。

喫煙者 大量飲酒をする方